納屋橋100年と堀川

今年は納屋橋がハイカラな姿で登場して100周年。名古屋の母なる「堀川」のお臍（へそ）にあたる納屋橋はレトロな橋と皆に親しまれ、広小路や堀川端を行く人々の憩いの時を見つめてきました。堀川の文化的価値を再発見しつつ21世紀を歩いてきた堀川文化探索隊と堀川文化を伝える会がその魅力を展示とお話で紹介します。

展示会◉2013年10月22日㈫～11月4日㈷ 10時～18時（㈮20時 ㈯㈰㈷最終日17時 28㈪休館）

講演会◉2013年11月 2 日㈯ 14時～16時（受付13時30分より） ◉入場無料

定員◉先着100名

〈講演〉納屋橋100年と堀川――伊藤正博 堀川文化探索隊

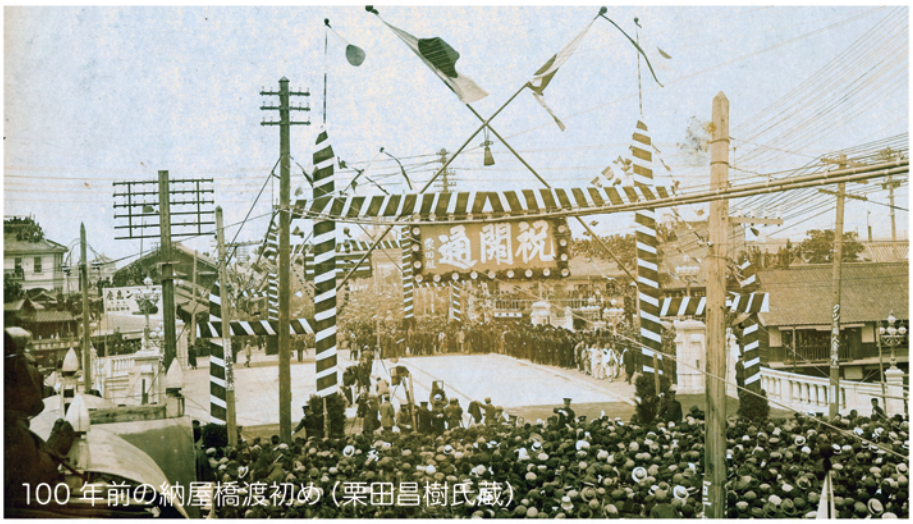
〈対談〉丹坂和弘 レトロ納屋橋100年実行委員会＋伊藤正博

会 場◉名古屋都市センター 11階まちづくり広場

金山総合駅南口より徒歩1分・金山南ビル

活気ある大正初期の納屋橋・南西河畔から（個人蔵）

竣工時の矢田川伏越南側・トンネルを舟が通った（個人蔵）



100年前の納屋橋渡初め（栗田昌樹氏蔵）

『桜見与春之日遊』より「花見船」（名古屋市博物館蔵）

主催＝堀川文化探索隊・堀川文化を伝える会 連絡先＝050-3424-1227 協力＝レトロ納屋橋100年実行委員会